



経済合理性を検討したうえで 設計者のニーズに最適な海外建材を提案

株式会社 東京工営は、海外建材のフローリング(無垢・複合・床暖房対応)や、デッキ(天然木・人工木)、羽目板などを扱う技術系の建材専門商社です。1998(平成10)年に前身の株式会社大阪工営/輸入資材部門として業務をスタートし、2007(平成19)年10月に設立されました。フローリング材は、オークを中心に顧客のニーズに合わせて多様な商材を取り揃え、既製品だけでなく、さまざまな特注案件に対応しています。海外建材を取り扱ううえで大切にしていることを、下元宗郎社長にうかがいました。

限られた予算内で 多様な設計者のニーズに応える

当社は、海外建材を輸入・販売する専門商社です。私がこの仕事を始めた30年ほど前は、食料品やアパレルなども国産主義で、フローリング材も国産の銘木が良しとされる風潮でした。しかし、設計される方たちは常に銘木を求めているわけではなく、案件によっては節があってもいいし、板目と柾目が混ざっていても構わない。限られた予算内で、求められている優先順位が違うということがわかってきました。ですから、私たちはそのニーズに応えるため、海外で多様なネットワークをもち、最も適した海外建材を調達し販売しています。

一般的な製品販売以外に私たちが得意としているのは、ストライクゾーンの四隅を突くようなマニアックな分野です。創業時から、リーズナブルな価格で案件向け特注品を提供することにこだわっていたことを建築家の小嶋一浩先生が最初に面白がってくださり、これは大変自信になりました。

今の若い世代は、どの商品も国産であるかどうかはあまり気にしていません。建材も同じで、海外建材に目を向ける企業が増え始めています。時代は大きく変わったと感じています。

日本の基準を満たした 安心・安全な建材を提供

海外の建材を扱う上でまず大切にしているのは、安心・安全です。公的



フローリングを放射状に施工したクリニックの事例(設計: DOG 一級建築士事務所 写真: 中山保寛)

な試験機関の検査やJAS規格への適合、自社試験などを徹底して行い、日本の基準を満たしたものを提供しています。また、国産建材と比べて、品質や性能など相対的に見て割安に感じていただくことを重視しています。

当社の木質系フローリングは、機密性の高い現代の建築環境に適した含水率で出荷し、反ったり不具合のないように努めています。最近は複合材の技術が上がってきたこともあり、無垢材の風合いを持ちながらも扱いやすい、複合フローリング(表面単板2mm、3mm、4mm厚)が選ばれるケースが増えています。とくに、幅広のオーク系が商業施設や住宅などに人気です。

人工木デッキ「バイタルデッキ」シリーズは、人工木の長年の課題であった伸縮や吸水の問題をクリアしています。メンテナンスが簡単で割安感があり、販売を伸ばしています。

経済合理性に基づいた 最適なプランを提案する

既製品も数多く揃えていますが、カスタマイズや特注品にも柔軟に対応し、予算や納期、デザイン性など、総合的に経済合理性を考えながら最適なプランを提案します。

これまでの事例として、家具店舗への、店舗ごとのコンセプトに合わせた特注フローリングの提案などがあります。また、土足対応の床で、キズがつきにくく質感も残るマットな塗装で仕上げたいという要望には、海外の塗料メーカーと協議のうえ、硬度と耐摩耗性を確保したつや消し塗料を開発して対応しました。計画段階から参加し、サンプル作成を何度も繰り返すこともあります。

これからも、こだわりの商材をリーズナブルな価格でご提供できるよう追求してまいります。



株式会社 東京工営

<https://www.tokyokoei.com>

木製フローリング・木製デッキ・人工木デッキ・樹脂系フローリング・木製羽目板など、海外建築材料の輸入販売。

〒112-0014 東京都文京区関口1-24-8 東宝江戸川橋ビル9階
TEL: 03-5225-4080 FAX: 03-5225-4081

■商品サンプルを無料提供中です。お電話または当社HPよりご依頼ください。

